

【目的】

今後の気象変動により発生頻度が高まると予想される施設能力を上回るような洪水に対応するため、天竜川下流域の沿川2市（浜松市、磐田市）、静岡県、国等が連携・協力して減災のための目標を共有し、**ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築**する。

【開催概要】

日時：平成28年8月29日（月） 15:30～16:30

会場：クリエート浜松 53会議室

出席：浜松市土木部長、磐田市危機管理監、袋井土木事務所長、浜松土木事務所次長
静岡地方気象台長、浜松河川国道事務所長

議事：①「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組について
②「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく天竜川下流の取組方針（案）について
③台風10号の状況について

決定事項：5年間で達成すべき目標（ひとたび氾濫が発生した場合、広域に氾濫水が拡散する地形の特徴を踏まえ、天竜川下流で発生しうる大規模水害に対し、

「水防災を意識して命を守る」「迅速かつ確実な復旧を行う」を目指すことを決定



協議会開催状況

【主な発言内容】

- ・浜松市土木部長：今回の取り組みは、市としてはありがたいと思っている。国土交通省や市などの役割に基づいて、5年後の達成に向けて取り組みを進めていくことが重要である。また、幹事会、協議会を毎年実施し、進捗を確認しながら進めていきたい。
- ・磐田市危機管理監：各取り組みは、各々の機関が実施するものであるが、協働できるものは協力して実施していきたい。
- ・袋井土木事務所長：本河川の氾濫特性に応じた取り組みを推進して頂きたい。
- ・浜松土木事務所次長：上流部の取り組み等も考慮しながら進めていく必要がある。
- ・静岡地方気象台長：防災事業の素材集等を作成しており、学校等で活用して欲しい。
- ・浜松河川国道事務所長：近年の超過洪水に対応するため、県、市等の皆様と連携・協力し、減災のための目標を共有し、ハード、ソフト対策を一体的に推進していく所存である。



浜松市土木部長



磐田市危機管理監



袋井土木事務所長



浜松土木事務所次長



静岡地方気象台長



浜松河川国道事務所長